

増やそう！女性経営者

日本を美容大国に

日本のエステ業界をリードするミス・パリ

「エステティックミス・パリ」「男のエステダンディハウス」などを展開し、日本のエステ業界をリードするミス・パリ・グループ。同グループ代表の下村朱美氏に、日本初の美と健康の専門職大学を開学する狙いなどを聞いた。

エステシヤンの地位の向上を目指して

日本初の美と健康を教育研究する専門職大学開学の狙いは



株式会社ミス・パリ
代表取締役
下村朱美さんに聞く

2023年にビューティ&ウェルネス専門職大学の開学を目指しています。エステシヤンやスパセラピストの実践的な教育は、2年間の専門学校でできませんが、私共が目指しているのは、美しさの基礎にある心身ともに健康であるためのヘルスプロモーションを学び、より専門的な知識、高度な技術、幅広い顧客に対応できる教養、ホスピタリティ、データサイエンス、経営までを学びリーダーとしての資質を身に付けます。

教育を通して実現した向上です。
― エステ業界に進出したきっかけは
1982年、瘦身に特

ビューティ&ウェルネス専門職大学開学へ向けて日本の「和」のサービスが大好評

おり、そこで働く若いエステシヤンの一生懸命さに感動しました。
しかし、彼女たちは「な

化したエステティックサロンのシェイプアップハウス1号店を大阪の難波にオープンしました。
シェイプアップハウス

1つは、お客様から信頼を得て、安心、安全に通えるサロンを増やすこと。もう1つは、働いているエステシヤンの社会的地位の

ぜ、この肌には、この化粧品を使うのか」、「ビタミンを飲むことでどんな効果があり、どのように痩せるのか」といった理論を学んでいませんでした。
― 一生懸命なエステシヤンに知識が加われば、お客様が喜ぶ効果を出すことができる。そういう思いでサロンを創業しました。
― コロナ禍の影響について
ミス・パリ・グループでは、日本の癒し「WASP A」、女性専用の「エステティックミス・パリ」、やせる専門店「ミスパリダイエットセンター」、男性専用の「男のエステダン



2023年に日本初の美容専門職大学を開校する

東京ニュービジネス協議会の会長を務めました。会長に就任するとすぐに「女性活躍推進委員会」を作りました。各地の女性会員とミーティングを行う中で、女性社長にとって一番の悩みが「ロールモデル」がないことだと分かりました。そこで、活躍する女性社長と交流する機会を設け、参加者のやる気を鼓舞しました。

女性が働く歴史は男性に比べると短いですが、男性、女性ともに、お互いの長所を認め合っていくことが大切だと考えています。
― ミス・パリ・グループの目標は
夢は日本を美容大国にすることです。美しさは心身の健康の下で完成します。食や運動までアドバイスができるプロフェッショナルがいて欲しいです。
日本人は美的センスが高く、丁寧な接客ができて、ホスピタリティにも優れています。

そんな日本人は、エステティックやスパサービスで世界の頂点に立てると私は考えています。それを実現するために、ビューティ&ウェルネス専門職大学を是非とも開学させたいと思っています。

「WASP A」の評判は外国から訪れたお客様に「WASP A」で日本の美と健康の秘訣を披露したい！という思いから、

2014年から6年間、

女性経営者の「ロールモデル」が少ない

2020年4月には、緊急事態宣言の影響でお客様のキャンセルが相次ぎました。ただ、長くお付き合いしているお客様の中には「コロナ禍が落ち着いたらまた来ます」と言って、予約のためだけに来店してく